



## 2021年7月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年6月1日

上場会社名 ウチダエスコ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4699 URL <https://www.esco.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江口 英則  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 久保 博幸 TEL 047-382-4111  
 四半期報告書提出予定日 2021年6月2日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年7月期第3四半期の連結業績(2020年7月21日～2021年4月20日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年7月期第3四半期	17,265	27.0	2,892	88.0	2,895	87.8	2,044	104.1
2020年7月期第3四半期	13,597	37.2	1,539	183.8	1,542	181.8	1,001	165.0

(注) 包括利益 2021年7月期第3四半期 2,068百万円 (102.6%) 2020年7月期第3四半期 1,021百万円 (163.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年7月期第3四半期	568.76	
2020年7月期第3四半期	278.63	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年7月期第3四半期	16,863	8,399	49.8
2020年7月期	13,751	6,492	47.2

(参考) 自己資本 2021年7月期第3四半期 8,399百万円 2020年7月期 6,492百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年7月期		0.00		45.00	45.00
2021年7月期		0.00			
2021年7月期(予想)				45.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年7月期の連結業績予想(2020年7月21日～2021年7月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,000	21.7	2,700	57.7	2,700	57.2	1,900	59.4	528.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(2021年6月1日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年7月期3Q	3,600,000 株	2020年7月期	3,600,000 株
期末自己株式数	2021年7月期3Q	4,765 株	2020年7月期	4,730 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年7月期3Q	3,595,242 株	2020年7月期3Q	3,595,374 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における国内経済は、当初は感染拡大防止を心がけつつ段階的に経済活動水準を持ち直すという両立行動へのシフトが図られたものの、2020年末頃からの感染者数の急拡大に伴う1月7日の2回目の緊急事態宣言以降は、活動に制約を掛ける企業が少なからず発生しました。しかしながら、コロナ禍への対応経験に基づき、業種や業界によって違いはあるものの、僅かずつながら業況判断を上方に修正する企業が増えてきています。

当社の属するICT業界においては、学校市場では、GIGAスクール構想で計画されていた1人1台端末配備を、当初スケジュールの2023年度中の完了予定を2020年度中の完了へと目標が変更され、当社においても当第3四半期連結累計期間末までにほぼ対応を完了しました。また民間市場では、テレワーク（在宅勤務、サテライトオフィス勤務及びモバイルワーク）の実施に見られるような働き方改革が行われており、こうした学び方や働き方に係るデジタル化の流れが、市場の違いに関わらずさらに加速されています。

当社グループは、こうした新たなICT需要へ積極的に対応するとともに、当期が2年目となる第11次中期経営計画（2020年7月期～2022年7月期）の推進をしております。この計画の推進及び経営管理のツールとして、当社ではバランススコアカードを使用しており、14の重要成功要因との中で特に重視する重点基本方針である「顧客体験価値の創造～心のこもったおもてなしの提供～」に基づく事業分野毎の目標達成に取り組んでおります。

こうした中、当第3四半期連結累計期間の業績については、主としてICTサービス事業におけるGIGAスクール構想案件への対応が大きく貢献し、売上高は172億65百万円、前年同四半期比36億68百万円（27.0%）の増加、営業利益は28億92百万円、前年同四半期比13億53百万円（88.0%）の増加、経常利益は28億95百万円、前年同四半期比13億53百万円（87.8%）の増加となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益については、昨年2020年1月のESCO 船橋-BaySite設立に伴い遊休資産となっていた旧浦安テクニカルセンター跡地を第2四半期連結会計期間において売却したことによる特別利益等により、20億44百万円、前年同四半期比10億43百万円（104.1%）の増加となりました。

当第3四半期連結累計期間における事業セグメントの概況は以下のとおりです。

#### (ICTサービス事業)

学校市場においては、GIGAスクール構想に関わるネットワーク工事及びキッキングサービス等の受注案件の積極的な取り込みに努めました。これら受注案件につきましては、2021年3月末までの短納期であり、また案件が集中していることから、品質確保と納期遵守を最優先課題ととらえ、事前に緻密な作業計画と想定されるリスク対策を策定しました。第2四半期連結会計期間から本格的に作業着手したGIGAスクール構想案件につきましては、着実な案件管理を徹底したことにより、当初見込んでいた諸対策コストを大幅に抑制することができました。このことは、追加案件の取り込みとキッキングセンターの稼働率アップにも良い影響を及ぼし、当初想定していた生産性を大きく高めることができました。

民間市場においては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により新規案件の開拓が困難な状況の中、顧客及びパートナー企業の状況にあわせた提案を継続的に実施し、中堅企業を中心とした年度末案件の獲得並びに作業完了に努めました。

当第3四半期連結累計期間の業績は、GIGAスクール構想に係る案件売上に加えて、その他の文教市場及び民間市場案件も堅調であったことにより、売上高は139億39百万円、前年同四半期比44億31百万円（46.6%）の増加となりました。セグメント利益については29億2百万円、前年同四半期比15億44百万円（113.7%）の増加となりました。

#### (オフィスシステム事業)

サブライビジネスにおいては、お客さまの業務効率化とコスト削減をテーマにクラウド型間接材調達支援サービス等による直接販売の拡大に取り組みました。オフィスビジネスにおいては、企業の働き方改革をテーマに販売促進活動を積極的に推進し、オフィス移転やリニューアル等の案件拡大に取り組みました。

当第3四半期連結累計期間の業績は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響によるテレワークの実施に伴いプリント量が大幅に減少したため、サブライビジネスにおけるトナーカートリッジ等の販売が低調だったことから、売上高は26億68百万円、前年同四半期比5億85百万円（18.0%）の減少、セグメント利益は76百万円、前年同四半期比48百万円（39.0%）の減少となりました。

## (ソリューションサービス事業)

民間企業、学校、公共機関の各市場のお客さまに対して、当社が得意とするアプリケーションソフトの導入及び運用支援サービスの提案を強化するとともに、業務プロセスの品質改善、お客さま満足度の向上及び生産性向上に継続的に取り組みました。

当第3四半期連結累計期間の業績は、前連結会計年度末における受注残高が低調であったことに加え、前事業年度に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大の影響による、民間企業における業務アプリケーションシステム構築への投資先送り等があったことから、売上高は6億57百万円、前年同四半期比1億78百万円(21.4%)の減少、セグメント損失は85百万円(前年同四半期はセグメント利益56百万円)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は168億63百万円となり、前連結会計年度末に比べて31億11百万円増加しました。

流動資産は147億75百万円、前連結会計年度末比33億12百万円の増加となりました。これは主に、GIGAスクール構想案件に関わり、先行して取引が生じた仕入債務の支払いによる現金及び預金の減少27億94百万円等に対し、受取手形及び売掛金の増加38億24百万円、並びに電子記録債権の増加21億50百万円等によるものです。

固定資産は20億87百万円、前連結会計年度末比2億0百万円の減少となりました。これは主に繰延税金資産の増加66百万円、並びに投資有価証券が23百万円増加したこと等に対して、昨年2020年1月のESCO 船橋-BaySite設立に伴い遊休資産となっていた旧浦安テクニカルセンター跡地の売却による土地の減少2億58百万円、敷金及び保証金の減少11百万円、並びに建物(純額)が10百万円減少したこと等によるものです。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は84億64百万円となり、前連結会計年度末に比べて12億5百万円増加しました。

流動負債は70億58百万円、前連結会計年度末比12億25百万円の増加となりました。これは主に、短期借入金の減少1億50百万円、未払金の減少54百万円、並びに未払費用の減少49百万円等に対して、未払法人税等の増加3億96百万円、賞与引当金の増加2億24百万円、主としてGIGAスクール構想案件に関わる支払手形及び買掛金の増加5億28百万円、並びに前受金の増加3億62百万円等によるものです。

固定負債は14億5百万円、前連結会計年度末比20百万円の減少となりました。これは主にリース債務が31百万円減少したこと等によるものです。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は83億99百万円となり、前連結会計年度末に比べて19億6百万円増加しました。これは主に配当金の支払1億61百万円と親会社株主に帰属する四半期純利益20億44百万円の計上による利益剰余金の増加18億83百万円、並びにその他有価証券評価差額金が15百万円増加したこと等によるものです。

自己資本比率は前連結会計年度末の47.2%から2.6ポイント増加し、49.8%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月4日付「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしました、2021年7月期通期連結業績予想を修正いたしました。

詳しくは、2021年6月1日付「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年7月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年4月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,993,692	4,199,197
受取手形及び売掛金	2,110,236	5,934,755
電子記録債権	1,745,774	3,896,274
リース投資資産	231,839	215,450
商品	123,058	286,772
仕掛品	124,245	119,428
原材料及び貯蔵品	2,976	3,349
その他	132,690	121,490
貸倒引当金	△790	△885
流動資産合計	11,463,722	14,775,833
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	358,657	347,662
工具、器具及び備品（純額）	93,178	95,441
土地	693,332	435,282
リース資産（純額）	53,311	47,594
有形固定資産合計	1,198,480	925,980
無形固定資産	134,261	128,561
投資その他の資産		
投資有価証券	156,220	179,935
敷金及び保証金	210,080	198,296
繰延税金資産	586,956	653,008
その他	2,400	2,356
貸倒引当金	△743	△702
投資その他の資産合計	954,915	1,032,894
固定資産合計	2,287,658	2,087,437
資産合計	13,751,381	16,863,270

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年7月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年4月20日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,617,076	2,145,202
短期借入金	260,000	110,000
リース債務	83,041	92,853
未払金	401,551	346,760
未払費用	516,181	467,093
未払法人税等	374,880	771,608
前受金	1,739,246	2,101,878
賞与引当金	493,453	717,484
工事損失引当金	246	339
その他	347,644	305,504
流動負債合計	5,833,323	7,058,725
固定負債		
退職給付に係る負債	1,216,197	1,228,012
リース債務	202,081	170,191
長期未払金	7,312	7,312
固定負債合計	1,425,591	1,405,516
負債合計	7,258,915	8,464,241
純資産の部		
株主資本		
資本金	334,000	334,000
資本剰余金	300,080	300,080
利益剰余金	5,850,552	7,733,596
自己株式	△2,636	△2,853
株主資本合計	6,481,996	8,364,823
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	72,133	87,702
退職給付に係る調整累計額	△61,663	△53,496
その他の包括利益累計額合計	10,469	34,205
純資産合計	6,492,466	8,399,029
負債純資産合計	13,751,381	16,863,270

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年7月21日 至 2020年4月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年7月21日 至 2021年4月20日)
売上高	13,597,914	17,265,949
売上原価	9,657,023	11,940,663
売上総利益	3,940,891	5,325,285
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	921,958	964,829
賞与引当金繰入額	319,457	333,904
退職給付費用	82,238	85,812
法定福利費	184,459	192,749
福利厚生費	68,788	68,941
賃借料	74,643	83,200
減価償却費	82,957	73,648
その他	667,298	629,412
販売費及び一般管理費合計	2,401,801	2,432,498
営業利益	1,539,089	2,892,786
営業外収益		
受取利息	137	36
受取配当金	1,901	2,254
受取手数料	1,127	1,266
その他	1,456	1,040
営業外収益合計	4,621	4,597
営業外費用		
支払利息	1,135	941
不動産賃貸費用	390	385
その他	151	265
営業外費用合計	1,676	1,592
経常利益	1,542,035	2,895,791
特別利益		
固定資産売却益	—	60,294
特別利益合計	—	60,294
特別損失		
固定資産除却損	383	—
減損損失	83,352	—
特別損失合計	83,736	—
税金等調整前四半期純利益	1,458,299	2,956,086
法人税、住民税及び事業税	573,335	987,772
法人税等調整額	△116,821	△76,517
法人税等合計	456,513	911,255
四半期純利益	1,001,785	2,044,831
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,001,785	2,044,831



(四半期連結包括利益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年7月21日 至 2020年4月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年7月21日 至 2021年4月20日)
四半期純利益	1,001,785	2,044,831
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11,783	15,568
退職給付に係る調整額	7,462	8,167
その他の包括利益合計	19,246	23,736
四半期包括利益	1,021,031	2,068,567
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,021,031	2,068,567
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年7月21日 至 2020年4月20日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ICT サービス事業	オフィス システム事業	ソリューション サービス事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	9,507,683	3,254,365	835,865	13,597,914	—	13,597,914
セグメント間の内部 売上高又は振替高	118,833	28,054	126,995	273,883	△273,883	—
計	9,626,517	3,282,419	962,860	13,871,798	△273,883	13,597,914
セグメント利益	1,357,787	124,873	56,428	1,539,089	—	1,539,089

(注) 1. 全ての営業費用は各報告セグメントに配賦しているため、セグメント利益の調整額はありません。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額
	ICT サービス事業	オフィス システム事業	ソリューション サービス事業	計		
減損損失	335	—	1,079	1,414	81,937	83,352

(注) 1. 「調整額」の金額は、各報告セグメントに帰属しない全社資産です。

## II 当第3四半期連結累計期間（自 2020年7月21日 至 2021年4月20日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ICT サービス事業	オフィス システム事業	ソリューション サービス事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	13,939,654	2,668,903	657,391	17,265,949	—	17,265,949
セグメント間の内部 売上高又は振替高	101,942	25,441	123,230	250,614	△250,614	—
計	14,041,596	2,694,345	780,622	17,516,564	△250,614	17,265,949
セグメント利益又は損 失(△)	2,902,014	76,178	△85,406	2,892,786	—	2,892,786

(注) 1. 全ての営業費用は各報告セグメントに配賦しているため、セグメント利益の調整額はありません。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。